

つながりを大切にし、
かかわりを深める児童生徒の育成



ユネスコスクール便り

№86

令和2年2月26日
大牟田市I社スクール
担当者通信

特色ある実践事例の紹介

「みんなにやさしいまちづくり」 明治小学校



明治小学校の4年生は、視覚に障がいのある方とガイドヘルパーさんとの交流を通し、その方々の生き方や思いについて学びました。

また、市役所の方々の協力を得ながら、校区にある多目的交流施設「えるる」を見学し、ユニバーサルデザインを取り入れた建物の工夫を見つけたり、新栄町周辺で「車いす体験」や「白杖体験」をしたりすることで、自分たちの生活環境を見直すことにつなげました。

ユニバーサルデザインやバリアフリーを必要としている人々について調べて自分にできることを考えて実践したり、それを友達や家族に紹介したりして、「みんなにやさしいまちづくり」をめざしています。



車椅子体験の様子

「エネルギー節約大作戦」 白川小学校



白川小学校の4年生は、総合的な学習の時間「エネルギー節約大作戦」の学習を行いました。初めに、「ゴミ減量大作戦」を行い、身近な環境問題を発見しました。そして、自分たちの生活を見直し、エネルギーを節約できることはないか考え、エコチェックシートを活用した具体的な取組を学校や家庭で実践したり、ポスターに表現して節約を呼びかけたりしました。

今年は、キャノンの方に来ていただき、インクカートリッジの分別の手順を学習しました。無駄なくリサイクルするためには、部品の性質を考えた分別が大切であることを学びました。



ごみ分別を考える子どもたち

「防災・減災学習」 橘中学校



本校では1年生を中心に防災・減災学習を行うようにしています。

まず11月は「防災・減災オリエンテーション」として、身近に起こりうる災害について学習したあと、体育館で玉入れの球を使ってバケツリレー体験を行いました。12月は「防災グッズについて知ろう」として、防災袋の中に入っているものの確認とその使い方などを学習しました。1月には「地域の防災・減災の状況について知ろう」として、ハザードマップの確認や地域の災害の歴史を学びました。また、夜の防災減災学習を計画しています。これは保護者・地域の方にも参加してもらい、夜間に避難した状況を想定して、何が必要か、どのように行動すべきかなどをグループで協議する活動です。大牟田市消防本部の方からの講話もあります。これらの活動を通して生徒たちが主体となって活動し、どう行動するかなどを学習していきます。



バケツリレー体験の様子

教えて！
大牟田の ESD



Q:「ユネスコスクールの日」
「ユネスコスクール週間」とは？

大牟田市では、平成24年1月17日に全ての市立小・中・特別支援学校がユネスコスクールになりました。これを記念して、毎年1月17日を「大牟田市ユネスコスクールの日」と制定しました。

そして、この日を含む1週間を「ユネスコスクール週間」とし、各学校では、ESDに関する発表や作品等の展示等を行い、子ども達だけでなく保護者や地域の皆さんにもESDへの理解を深めていただくようにしています。

